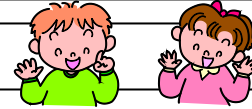




# おりひがっこ

子どもたち一人一人が笑顔で過ごす学校をめざして



さて、現代はインターネットやアプリによって、大変便利な世の中です。しかし、それらは安全に正しく使うことができればとても便利ですが、使い方によっては誹謗中傷やいじめの温床になったり、事件や犯罪に巻き込まれるきっかけになったりもします。「我が子は大丈夫!」と思いがちですが、対岸の火事ではありません。是非、下記の例を参考にし、ご家庭でのルール等、お子様と一緒に考えてみてください。

## ①スマホの過度な使用による日常生活への支障

無料通話アプリやSNS、ゲーム、動画など、楽しく魅力的なことがいろいろできるスマホですが、使い過ぎには要注意。勉強や食事をしていてもスマホが気になる、歩行中もスマホから目が離せない、そんな依存傾向のある子どもが増えています。自分をコントロールできずスマホを長時間使うようになれば、勉強に充てる時間が減るだけでなく、健康面でもマイナスです。適切な使い方ができるよう、利用のルールを話し合い、保護者が利用状況を把握するよう心掛けましょう。利用時間を制限するアプリを利用することも一つの方法です。

## ②無料通話アプリなどでの悪口や仲間外れ

無料通話アプリのグループトークで生じる“いじめ”や“仲間外れ”は、地域を問わず課題となっています。特定の子に対し、その子の発言だけ無視する、その子にとって不快な写真や動画をグループで共有する、その子以外とグループを作り悪口を言う、その子をグループから突然外すなどがあり、何気ない出来事からいじめに発展することも少なくありません。メンバーでなければ会話の内容を読むことができないため、トラブルの発見が遅れがち。日々の様子や会話から子どもの変化に気付くこと、これが早期発見や解決につながります。

※①②平成29年度総務省調査研究「インターネット利用におけるトラブル事例等に関する調査研究」より

## ③ネット依存・オンラインゲーム依存

平成24年厚生労働省研究班の調べでは、平日に学業以外で5時間以上インターネットを利用する中学生は9%、高校生は14~15%であったそうです。その中でも、ネット依存が強く疑われるのは、中高生の8%、およそ52万人にも上ることが分かりました。しかし、現在ではさらにネット利用は低年齢化し、小学生の依存症も少なくないと言われています。さらに、平成25年8月の調べでは、ネット依存の約8割がオンラインゲーム(ネットゲーム)依存だそうです。最近ではオンラインゲームだけでなく、チャット、SNS、動画サイトなどに夢中になる層が増加し、さらなるネット依存が懸念されています。

※オンラインゲームは、携帯電話やスマートフォン、パソコンだけでなく、人気ゲーム機でもすることができます。

※③インターネット「子どものネット依存症」より

### 【子どもとネット・ワンポイントコラム】

#### 無料アプリだけなら安心？

スマートフォンを子どもに渡す時に、「無料アプリだから安心」と思っていませんか。しかし無料アプリであっても、運営会社は、より長く利用者にアプリを使わせる工夫をします。

その結果、ほんの少しだけのつもりで始めたのに、やめることができなくなり、睡眠時間や学習時間を削ってしまう子どももいます。「無料」と引き換えに、かけがえのない大切な時間を失う可能性があることを理解させて、子どもを守りましょう。

